

MTB FESTIVAL Spring 2013 in 緑山スタジオ J2 レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 齊藤 亮

大会名： MTB FESTIVAL Spring 2013 in 緑山スタジオ J2

期日：2013年4月7日（日）

会場：緑山スタジオ・シティ特設コース

天気・気温：曇/晴・19℃

競技種目：男子エリート 2.1km×10周回

出場者数：53名

結果：優勝

.....

2013年国内MTBシーズンのオープニングレースとなるJ2緑山大会。シーズンを占う意味でもオープニングレースへのアプローチは重要であり、特別な思いと緊張感に包まれる。J2レースとは言え、レースに対する意識や準備などはJシリーズ戦（J1）と変わりはない。MIYATA-MERIDA BIKING TEAMとして向かえる2年目の今シーズン。チームスタッフ、サプライヤーのサービスマン、十分過ぎる程の体制でレースに挑めることが何よりも心強い。今季は海外遠征やレースを転戦し経験したことで見えた課題と方向性。国内ではレースに100%集中出来る環境を作って頂けることが本当に有り難く恵まれている。体は若干疲れてはいるものの、今出来る最大限のことを自分なりにやろうと心に決めレースに集中していく。前日のコース試走では勝負のポイントとなるであろう場所は時間を掛けて探っていく。ゆっくりでは簡単に思えるセクションもハイスピードでは難しく、タイトな連続コーナーを繰り返し反復しイメージを膨らませていく。風が非常に強いものの雨が降る前にコース試走を切り上げ帰宅。

天気予報通り、夕方からは台風並みの強風と大雨。外を眺めながらマッドレースになるのは覚悟した。しかしレース当日、前日の大雨が嘘のようなピーカンの天気……。男子エリートのレースは午後のため、強い日差しと南風が吹きつけていたのでコンディションは時間が経つにつれ徐々に回復していき、ほぼドライコンディションにまで変化していく。悩んでいたタイヤ選択もIRC/MYTHOS XC TUBELESS READY(29×2.1)をチョイス。今回ノブを少しカットしたスペシャルバージョン。ケミカル



はもちろん信頼を寄せるホルメンコール。バイク、チェーン、ウェア、シューズ、サングラス、全てにナノコーティング。バイクはメカニックの最終調整を終えてアップ開始。特別なことはせずいつも通り、いつものルーティンで。そう自分に言い聞かせ、気持ちをリラックスさせる。男子

エリートのスタート時間は13時30分。10分前にスタート招集が開始され、ゼッケン順にスタートラインに並ぶ。レースのイメージや展開を思い描きながら、号砲を待つ。そして号砲一発！反応良くスタートを、切れなかった・・・。ペダルを踏み外しスタートダッシュ失敗。スタート練習を重ねて来たにも関わらず失敗・・・。スタートは今後の課題だ・・・。緑山のコースはシングルトラックが多いため前方に位置取り



することが重要になる。今年の若手選手は非常に元気が良い走り。先行を許す形になり5番手で最初のシングルトラックに進入。もっともっと前に行きたい・・・ペースも上げたい・・・しかし前の選手に阻まれ前方に位置取れない。集団内で抜きどころを探りながらの走行が続く。コースの7～8割はシングルトラック。登りらしい登りはなく、かなりハイスピードコース。その分、脚を休める区間が少ないので差が付きにくいように思うが意外にも差が付きやすい。テクニカルセクションはないが、リズム良く、正確にバイクをコントロールしないとミスをしてタイムロスに繋がってしまう。1周目を3番で通過し2周目へ。相手のちょっとしたミスやスペースを見逃さず、前へ前へと上がっていく。3周目中盤に先頭に立ち、一気にアタック。自分のペースとラインを見極めて走り、後続は徐々に離れていった。周回を重ねるにつれタイム差が付き始めた。6周目には1分程の差が付いた。2、3番手には勢いのある若手選手が追ってくるのが確認できた。6分50秒～55秒のラップで周回を刻んでいく。良いラップタイム、良い展開だと思いつつも、冷静に、焦るなと言いつつも聞きかせる。海外レースで経験したレベルの差。前を追っても追ってもたくさんの選手がいて、タレてペースが落ちればごぼう抜きされる。諦めることは負けること。たくさんの経験をしたことで自分も進化した。過去の結果や実績は関係ない。自分との勝負に負けないこと、世界で走るイメージを明確に持つことを強く意識した。ファイナルラップも集中力を切らさず追い込みゴール。2位に2分33秒差を付けて優勝。国内のオープニングとなる今大会はたくさんの声援を受け最後まで頑張ることが出来た。MTBシーズンの初戦が無事に終わり、色々な感情が込み上げる。もっと強くなりたい。純粋にそう思える。来週(15日)からアメリカ・シーオッターに参戦する予定。また世界のトップ選手と一緒に走れることが今から楽しみで仕方ない。たくさんの応援、サポート本当にありがとうございました。次戦も熱い走りができるように頑張りますので2013年シーズンもご支援、ご指導よろしくお願ひします。



【レース結果】

1. 齊藤 亮 長野県/MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM
2. 中原義貴 大阪府/CANNONDALE
3. 前田公平 東京都/TEAM SCOTT
4. 小笠原崇裕 東京都/THE BIKE JOURNAL
5. 小野寺健 京都府/TEAM SPECIALIZED
6. 門田基志 愛媛県/TEAM GIANT

【使用機材】

バイク：MERIDA / BIG.NINE CARBON TEAM-D

フロントフォーク：DT-SWISS / XMM100-29 TS REMOTE TAPER

クランクセット：SRAM / XX1

サドル：SELLE ITALIA SLR XC

ホイール：XCR 29er SUPER COMP PRO

タイヤ：IRC / MYTHOS XC TUBELESS READY (29×2.1)

シューズ：NORTHWAVE / エクストリームテック MTB S.B.S

ヘルメット：KABUTO / REDIMOS

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro /LST アクティブ S ライト

ケミカル：HOLMENKOL

メーター：POLAR / RS800CX BIKE

エネルギージェル：shotz ENERGY GEL

ドリンク：Electrolyte shotz

レースウェア：WAVE ONE

レースソックス：deuter

レースグローブ：KABUTO / PRG-1

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

テーピング：New-HALE

ネックレス：erg

